

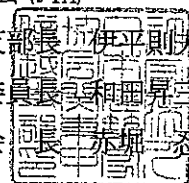


2008年 10月15日

郵便局株式会社 代表取締役会長 川 茂夫様
郵便局株式会社 代表取締役社長 寺阪元之様

社団法人 日本建築家協会 (JIA)

関東甲信越支部 支部長 伊平 剛夫
同 保存問題委員会 委員長 和田 昇三
同 千代田地域会 会長 赤城 忍



「東京中央郵便局庁舎」の保存活用及び、プレス発表された計画案に関する見直し要望書

拝啓 時下益々ご清祥の事とお慶び申し上げます。

貴社におかれましては、旧逓信省時代より日本の建築文化の継承に深い理解を示され、また本協会の活動にもご支援を賜り、深く感謝致します。

さて、2008年6月25日プレス発表された「東京中央郵便局の再整備計画」につきまして、説明文中に「再現」という言葉が見られ、建築のオーセンティシティ（真実性）の継承という観点から大変危惧しているところであります。

この東京中央郵便局が所在する千代田区からも、「東京中央郵便局建造物保存に関する要望書」が出されたと聞き及んでおります。そうした時勢にあつて、高層化を推し進めるために、東京中央郵便局庁舎の一部を残してはおられますが、オーセンティシティに係わる部分の解体を伴う計画はいささか性急に思われます。

現存する同庁舎の建築物や空間のオリジナルのすがたをそのまま残し保存活用することで、東京中央郵便局のオーセンティシティを存続・継承し、改修は重要文化財の指定が可能な範囲にとどめられますよう、事業計画案の見直し検討をしていただきたく、ここに重ねてお願い申し上げます。

尚、私たち日本建築家協会関東甲信越支部、同保存問題委員会、同千代田地域会は、上記実現のためできる限りのご協力をさせていただくことを申し添えます。

敬具